

2016年8月26日

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社

## 大阪府との連携協定の締結について

大阪本社開設を機に、従来の連携内容を拡充し、AIG グループ全体のリソースを活用

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社（代表取締役社長兼 CEO ロバート L. ノディン）は、大阪府との間で、8分野にわたる連携と協働に関する連携協定を本日締結しました。

連携内容は以下の8分野となります。

「リスク管理能力向上のための研究、啓発」、「外国企業の拠点立地とビジネス環境づくり」、「関西国際空港の利用促進」、「国際物流の促進」、「中小企業の海外進出支援」、「教育分野における日米交流」、「こどもの安全」、「防災・減災」

本協定は、当社が昨年11月に公表した計画に基づき、当社の大阪本社を大阪府の関西イノベーション国際戦略総合特区内にある「グランフロント大阪」に開設したことを機に締結にいたりました。これまでは、当社傘下のAIU損害保険株式会社と大阪府が2013年12月に連携協定を結び、関西国際空港や阪神港の専用保険の開発や日米高校生交流プログラムなど様々な活動に共に取り組んできました。

今回の当社との協定締結を機に、協働の対象範囲をAIG ジャパン・グループ全体に拡充し、グループ全体のリソースの活用を図ります。また連携の内容についても、従来から取り組んできた内容に加え、新たに「リスク管理能力向上のための研究、啓発」と「外国企業の拠点立地とビジネス環境づくり」などが加わりました。当社の大阪本社となる「グランフロント大阪」を含め、先進的なイノベーションを育む場、また団体・機関とのコラボレーションを促進する場として、大阪の都市としての価値はさらに高まると当社は考えており、今後も多くの企業や観光客を引きつける大阪の活性化に寄与したいと考えています。

その一環として、日本社会全体でのリスク管理能力の向上を目的とした研究組織を今後新たに大阪に設立する予定です。本研究組織は、当社の今後の事業戦略上も重要な位置づけとなるもので、特定の課題に取り組む各種団体・機関等と協働または支援するハブとなることを目指し、日常生活や事業経営に潜むリスクを理解し管理することに役立つ研究・調査等を支援していく予定です。またAIGグループが、米国をはじめ海外で蓄積したリスク管理に関する知見についても積極的に国内に還元していく予定です。